

## 口腔病理学講座 (Department of Oral Pathology)

### 教育研究原著論文

#### 1) 印刷公表

1. Shida M, Baba T, Taguchi Y, Okamura T, Tanaka A, Ueda M, Hayashi H. Induction of proinflammatory cytokine mRNA by neuropeptides ; comparison between human dental pulp cells and periodontal ligament fibroblasts. *J Oral Tissue Engin* 2011 ; 8(3) : 195-202.
2. Shida M, Baba T, Taguchi Y, Okamura T, Tanaka A, Ueda M, Hayashi H. Effect of neuropeptides on human dental pulp cells ; mRNA expression of proinflammatory cytokines. *J Osaka Dent Univ* 2011 ; 45(1) : 129-133.
3. 辻 要, 和唐雅博, 松田彩起子, 松島由紀, 林 輝嘉, 吉田博昭, 山田耕治, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 角化嚢胞性歯原性腫瘍と正角化性歯原性嚢胞におけるサイトケラチンの発現. *日本口腔外科学会雑誌* 2011 ; 57(6) : 330-334.
4. Imai K, Akasaka T\*, Watari F\*, Tanoue A\*<sup>2</sup>, Nakamura K\*<sup>2</sup>, Suese K, Takashima H\*<sup>3</sup>, Nishikawa T, Tanaka A, Takeda S. Study of *in vitro* embryotoxicity potential by two type nano titanium dioxide. *Nano Biomed* 2011 ; 3(1) : 224-230. (平成 22~24 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 22592202, 平成 23 年度成育医療研究開発費 (22S-6), 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
5. Nishikawa T, Okamura T, Masuno K, Tominaga K, Wato M, Uobe K, Imai K, Takeda S, Kono T, Morita S, Hidaka M\*<sup>4</sup>, Tanaka A. Tissue affinity and chemical characteristics of coral. *Nano Biomed* 2011 ; 3(1) : 231-236. (平成 23~26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
6. 中村真一\*<sup>5</sup>, 西川哲成, 益野一哉, 今井弘一, 田中昭男. サングの形態的特性と骨の増生への応用について. *日本口腔インプラント学会誌* 2011 ; 24(3) : 378-388. (平成 23~26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
7. Imai K, Watari F\*, Nishikawa T, Tanaka A, Tanoue A\*<sup>2</sup>, Nakamura K\*<sup>2</sup>, Takashima H\*<sup>3</sup>. An attempt to study of the C60 fullerene on differentiation of mouse ES cells. *Nano Biomed* 2011 ; 3(2) : 288-293. (平成 22~24 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 22592202, 平成 23 年度成育医療研究開発費 (22S-6), 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)

8. Nishikawa T, Okamura T, Kokubu M, Kato H, Imai K, Ono T, Tamura I, Takeda S, Ikeo T, Matsumoto N, Hidaka M<sup>\*4</sup>, Tanaka A. Morphological and physical characteristics and cell affinity of coral as a scaffold. *J Oral Tissue Engin* 2011 ; 9(2) : 88-95. (平成 23~26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
9. Tanaka M, Wato M, Tanaka A. The histological diversity of adenoid cystic carcinoma demonstrated by double immunohistochemistry for p16 and p63 gene products. *Oral Med Pathol* 2011 ; 16(1/2) : 9-13.
10. Kusafuka K<sup>\*6</sup>, Hirobe K<sup>\*6</sup>, Wato M, Tanaka A, Nakajima T<sup>\*6</sup>. CD56 expression is associated with neuroectodermal differentiation in ameloblastomas : an immunohistochemical evaluation in comparison with odontogenic cystic lesions. *Med Mol Morphol* 2011 ; 44(2) : 79-85.

## 2) 学会発表

1. 益野一哉, 西川哲成, 今井弘一, 中村真一<sup>\*5</sup>, 田中昭男. 骨増生を誘導するエダコモサンゴの特性. 日本口腔インプラント学会誌 2011 ; 24(2) : 278-279. (平成 23~26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
2. 井関富雄, 林 輝嘉, 辻 要, 和唐雅博, 田中昭男, 森田章介. 当科における角化嚢胞性歯原性腫瘍の治療と治療成績について. 第 29 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2011. 1. 27 熊本市.
3. 林 輝嘉, 和唐雅博, 辻 要, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 正角化上皮性歯原性嚢胞の免疫組織学的検討. 第 29 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2011. 1. 28 熊本市.
4. Imai K, Watari F<sup>\*</sup>, Nishikawa T, Tanaka A, Takeda S. *In vitro* study of cell differentiation by mouse embryo stem cells on C60 fullerene. ナノ・バイオメディシン シンポジウム, 第 4 回ナノ・バイオメディカル学会 2011. 2. 21 名古屋市.
5. Nishikawa T, Masuno K, Tominaga K, Wato M, Kokubu M, Imai K, Takeda S, Hidaka M<sup>\*3</sup>, Tanaka A. Tissue affinity and chemical characteristics of coral. ナノ・バイオメディシン シンポジウム, 第 4 回ナノ・バイオメディカル学会 2011. 2. 22 名古屋市. (平成 23 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
6. 田村 功, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. EGFR 阻害剤チロフォスチン AG1439 がヒト頬粘膜癌細胞の細胞間接着分子の動態に及ぼす影響. 第 65 回日本口腔科学会学術集会 2011. 4. 21 東京都江戸川区.
7. 林 輝嘉, 和唐雅博, 井関富雄, 辻 要, 田中昭男, 森田章介. 角化嚢胞性歯原性腫瘍における Bcl-2 と Bax の免疫二重染色. 第 65 回日本口腔科学会学術集会 2011. 4. 22 東京都江戸川区.
8. 国分麻佑, 富永和也, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. 唾液腺原発多形腺腫における組織学的検討および網羅的遺伝子発現解析. 第 100 回日本病理学会総会 2011. 4. 30 横浜市. (平成 23 年度大阪歯科大学学術奨励研究助成金 課題番号 11-01)
9. 木村彩子<sup>\*7</sup>, 西川哲成, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 国分麻佑, 螺良愛郎<sup>\*6</sup>, 田中昭男. 疣贅性病変における細胞増殖と HPV 感染との関連性. 第 100 回日本病理学会総会 2011. 4. 30 横浜市.

10. Imai K, Nishikawa T, Tanaka A, Watari F\*, Takashima H\*<sup>3</sup>, Takeda S. Influences of *in vitro* angiogenesis by ultrafine titanium dioxide and zinc oxide. 3rd International Symposium on Surface and Interface of Biomaterials (SIB2011) 2011. 7. 14 Sapporo, Japan.
11. Nishikawa T, Masuno K, Kato H, Kokubu M, Tominaga K, Wato M, Imai K, Takeda S, Ono T, Matsumoto N, Tanaka A. Observation of hard tissue with confocal laser scanning microscopy. International Symposium on Micro/Nano Aspects of Biomaterials, The Satellite Symposium of the 3rd International Symposium on Surface and Interface of Biomaterials (SIB2011) 2011. 7. 19 Kyoto, Japan. (平成 23～26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19～23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
12. Wato M, Kato H, Kokubu M, Masuno K, Tominaga K, Nishikawa T, Tanaka A. Application of salivary gland tumors using triple-immunostaining method. 第 22 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会・第 5 回アジア口腔顎顔面病理学会共催 2011. 8. 24 福岡市.
13. 西川哲成, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 国分麻佑, 嘉藤弘仁, 今井弘一, 武田昭二, 小野高尚, 松本尚之, 田中昭男. 多孔性カルシウム微粒子の化学的特性および血管新生に与える影響. 第 9 回日本再生歯科医学会学術大会・総会 2011. 9. 10 大阪市. (平成 23～26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19～23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
14. Stokes A\*<sup>8</sup>, Masuno K, Henley-Smith R\*<sup>8</sup>, Thavaraj S\*<sup>8</sup>. Do HPV-positive OPSCC patients Harbour HPV in other pharyngeal sites. 27th International National Papilloma Virus Conference and Clinical Workshop 2011. 9. 20 Berlin, Germany.
15. 安井菜津希, 田口洋一郎, 富永和也, 高橋宰達, 奥田麻貴子, 木村大輔, 片山暢仁, 南堂百映, 田中昭男, 上田雅俊. ラット骨髄細胞に対するエナメル基質タンパク由来合成ペプチドの初期硬組織分化誘導. 第 54 回秋季日本歯周病学会学術大会 2011. 9. 24 下関市. (平成 20～22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 20592442, 平成 19～23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
16. 野口三智子, 富永和也, 田中昭男, 上田雅俊. エナメル基質蛋白誘導体由来の合成ペプチドによる硬組織形成. 第 54 回秋季日本歯周病学会学術大会 2011. 9. 24 下関市. (平成 20～22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 20592442, 平成 19～23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
17. 田中 眞, 和唐雅博, 田中昭男. 唾液腺の腺様嚢胞癌の組織型における p16 と p63 の免疫二重染色. 第 53 回歯科基礎医学会大会・総会 2011. 10. 1 岐阜市.
18. Nishikawa T, Tanaka A. Physical and chemical characteristics and tissue affinity of two kinds of corals as a bone scaffold materials. ICOI World congress XXVIII 2011. 10. 7 Seoul, South Korea. (平成 23～26 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 23592909, 平成 19～23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
19. 林 輝嘉, 和唐雅博, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 角化嚢胞性歯原性腫瘍における上皮およびアポトーシス関連蛋白に関する研究. 第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011. 10. 22 大阪市.

20. 国分麻佑, 富永和也, 嘉藤弘仁, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. 唾液腺原発多形腺腫の形成に関する因子. 第42回日本口腔科学会近畿地方会 2011. 12. 3 大阪市. (平成23年度大阪歯科大学学術奨励研究助成金 課題番号11-01)
21. 安井菜津希, 田口洋一郎, 田中昭男, 上田雅俊, 梅田 誠. ラット骨髄細胞に対するエムドゲイン®由来合成ペプチドの生物学的影響. 第531回大阪歯科学会例会 2011. 12. 10 枚方市.

## 臨床症例報告

### 1) 学会発表

1. 河野多香子, 岩井理恵, 林 輝嘉, 富永和也, 田中昭男, 森田章介. 嚢胞様を呈した下顎エナメル上皮線維歯牙腫の1例. 第29回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2011. 1. 27 熊本市.
2. Yamanegi K, Ohyama H, Wato M, Tominaga K, Kokubu M, Kato H, Masuno K, Nishikawa T, Tanaka A. A case of the tumor in the left inferolateral margin of the tongue. 第22回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会・第5回アジア口腔顎顔面病理学会共催 2011. 8. 24 福岡市.
3. 伊達岡聖, 西尾謙宏, 渡辺昌広, 南野友希, 宇垣吉秀, 本橋具知, 森 悠衣, 砂田典子, 後藤基宏, 吉本 仁, 藤井智子, 富永和也, 大西祐一, 中嶋正博, 覚道健治. 下顎骨に発生した中心性歯原性線維腫の1例. 第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011. 10. 21 大阪市.

## 総説

1. 森 昌彦<sup>\*9</sup>, 住友伸一郎<sup>\*9</sup>, 式守道夫<sup>\*9</sup>, 田中昭男, 西川哲成, 国分麻佑. 第12回 ICOOC (国際口腔癌学会), 第24回 ICMFS (国際顎顔面外科学会) と第19回 ICOMS (国際口腔顎顔面外科学会) からみた中国の研究と臨床の現況. 日本口腔外科学会雑誌 2011; 57(4): 199-206.
2. 富永和也. -ここまで進んだ診断技術- 共著・ODU フォーラム 大阪 大阪歯科大学公開講座抄録集 2011; 3(2): 13-18.
3. 富永和也. ここまで進んだ診断技術-歯科疾患診断からわかる あなたの健康. 平成23年度(前期) コミュニティ・カレッジ抄録集 2011; 1(1): 1-8.

## 著書

1. 田中昭男, 西川哲成, 和唐雅博, 富永和也, 益野一哉, 国分麻佑. 共著. 新・歯科衛生士マニュアル Pathology 病理学. 東京: クインテッセンス出版 2011: 14-15, 16-20, 44-51, 86-93, 126-139.
2. 田中昭男. 編著. 歯科衛生士講座 歯周病治療の基礎と臨床 第2版. 京都: 永末書店 2011: 21-29.

3. 田中昭男. 共著. 病気の分子形態学. 東京：学際企画 2011：257-261.

- 
- \* 北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座生体材料学教室
  - \*2 国立成育医療センター研究所薬剤治療研究部
  - \*3 財団法人 食品薬品安全センター秦野研究所
  - \*4 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系
  - \*5 中村歯科医院
  - \*6 静岡県立静岡がんセンター病理診断科
  - \*7 関西医科大学病理学第二講座
  - \*8 Department of Oral Pathology, King's College London
  - \*9 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学